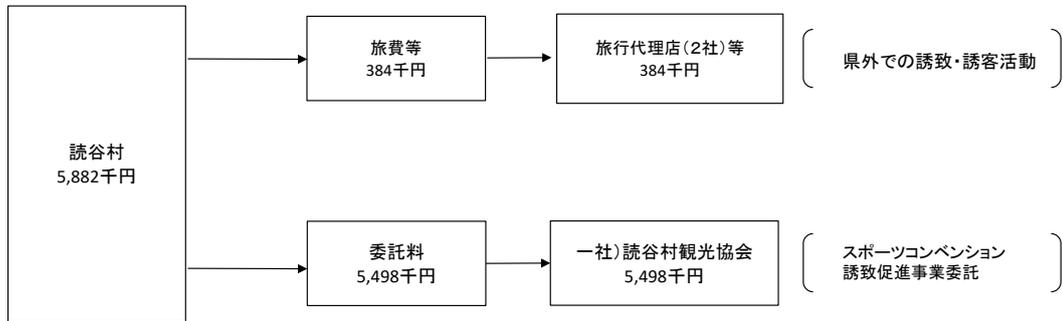


市町村名	読谷村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-① 読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部署名	ゆたさむら推進部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開		
事業内容	スポーツキャンプ等の誘致及び観光誘客を図るため、各種スポーツキャンプ・大会等の誘致活動、キャンプチーム本拠地等での観光・物産PRイベント及びキャンプ期間中の集客イベントの実施、SNS等を活用した観光物産等の情報発信を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 <small>【単位:千円】</small> <small>(「交付金」+「市町村負担」ベース)</small>		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	23,958	20,882	21,441	16,278	13,012
		(b) 予算現額	20,882	19,352	21,411	3,920	7,112
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,076	▲ 1,530	▲ 30	▲ 12,358	▲ 5,900
		(d) 繰越額					
		A. 計 (b+d)	20,882	19,352	21,411	3,920	7,112
		B. 執行済額	20,612	19,112	20,754	3,920	5,882
		うち交付金充当額	16,489	15,289	16,602	3,136	4,706
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	98.7%	98.8%	96.9%	100.0%	82.7%
	予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症の再拡大による各種スポーツリーグの観客数制限や県外往來の自粛の影響もあり、誘致、誘客や受入など事業の活動及び内容が限られたため5,900千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	各種スポーツキャンプ・大会等誘致活動(2回)	目標	(4)	(5)	(4)	(2)	
		実績	1	1	1	2	
	キャンプチーム本拠地での観光誘客活動(3回)	目標	(3)	(3)	(4)	(3)	
		実績	4	5	1	3	
キャンプ期間中の集客イベントの実施	目標	()	(実施)	(実施)	(実施)		
	実績		実施	実施	実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・2回の誘致活動を実施した。トップセールス等を行い、実際のキャンプ実施に繋がる活動となった。 ・3回の誘客実施した。感染症拡大の影響もあり、実施内容や方法の変更もあった。 ・春季キャンプ時期の村内における観光誘客イベントを計画し実施した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	スポーツコンベンション誘致件数 29件以上	目標	()	(26団体)	(28団体)	(29団体)	()
		実績		29団体	8団体	11団体	
	イベント観客数 74,000人以上	目標	()	(80,000人)	(80,000人)	(74,000人)	()
		実績		102,981人	5,690人	28,625人	
キャンプ期間中の来場者数 23,700人以上	目標	()	(23,275人)	(35,400人)	(23,700人)	()	
	実績		23,730人	0	3,906人		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコンベンション誘致件数については、感染症拡大による県境往來自粛等の影響が大きく、目標値に達しなかった。 ・チーム本拠地等における誘客イベントでは、有観客試合におけるイベントを実施し、本村の安心安全な観光受入及び、物産のアピール、チーム代表へのトップセールスなどのキャンプ誘致も行った。感染症拡大防止によるイベント内容の調整や観客数制限もあり、目標値には達しなかった。 ・キャンプ期間中の来場者については、感染症拡大の影響で客足(来場者)は鈍く、目標値に達しなかった。 						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続き、当初予定の事業方法・内容の変更や縮小を余儀なくされた。 ・今後も継続的なスポーツコンベンション(キャンプ等)の需要は見込まれるが、感染症の影響にも引き続き注視する必要がある。 ・長引く感染症の影響もあるが、沖縄観光は回復傾向にもあることから、引き続きファン層に向けた情報発信などによる本村観光誘客及び物産PRは必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のなかでも、事業方法・内容を都度見直しながら効果的な事業展開ができるよう随時検討する。 ・各キャンプチームのキャンプ方針や本村に求める環境の的確な把握に努め、継続的なキャンプ実施の呼び込みに活かす。 ・既存のスポーツ関連施設を最大限活用し更なる事業効果を発揮できるよう、実証キャンプ等による新規種目の誘致を検討する。 ・観光回復を見込み、キャンプチームと連携した情報発信や誘客イベントを実施する。また、誘致誘客受入時に、村内の地域活性化に資する受入体制の構築・強化も検討する。
今後の取り組み方針		
<p>・新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、昨年度に引き続きキャンプを中止するチームもみられた。キャンプが定着化しつつあるチームもあり、さらに、他市町村の取り組みも相まって県全体のスポーツコンベンション需要の増加が見込めることから、引き続き誘致促進に重点を置く。また、スポーツ施設活用や地域への波及効果の最大化を目指し、新規種目についても誘致を行う。</p> <p>・県外誘客イベント等により本村の観光・物産をPRすることを継続する。観光協会SNSやチームとの連携によりファンが読谷村の情報を取得機会を増やし、来村の機会・動機付けに繋がる内容を発信する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,882	5,882	4,706	1,176	



資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明
点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業はスポーツキャンプ等の誘致及び誘客を図るものであるため、村観光協会と随意契約することは、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業目標などは概ね達成されているため適正な予算規模であったと考えられる。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途等については、額の確定時において支出などに関する書類により確認、適正であったと考えられる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

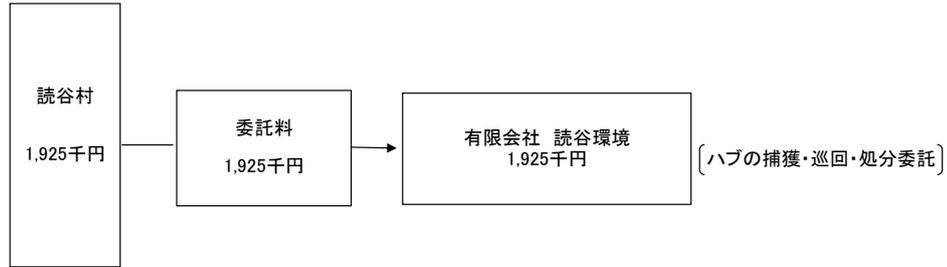
市町村名	読谷村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	危険生物駆除事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備	
担当部署名	総務部 生活環境課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	これまで近隣市町村でのみ捕獲された攻撃性の強いタイワンハブの捕獲事例が本村でも発生しており、その蔓延を防ぐためにも早期の駆除活動の強化が必要である。来村する観光客や行楽客、そして村民をハブ咬症から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除により個体数を減らすことで、より安全な観光地を目指す。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,606	7,607	7,677	4,519	3,210
		(b) 予算現額	5,802	6,048	6,002	3,619	1,925
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,804	▲ 1,559	▲ 1,675	▲ 900	▲ 1,285
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	5,802	6,048	6,002	3,619	1,925
	B. 執行済額		5,802	6,048	6,002	3,619	1,925
	うち交付金充当額		4,642	4,838	4,801	2,895	1,540
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。指名競争入札による入札残分を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	観光地周辺を含む村内各地に、ハブ捕獲器200器設置	目標	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	
		実績	設置完了	設置完了	設置完了	設置完了	
	定期巡回・管理の実施及び処分	目標	(24回)	(24回)	(24回)	(18回)	
		実績	30.6回	20回	19回	17.9回	
	危険周知看板100枚の管理	目標	(100枚)	(100枚)	(100枚)	(100枚)	
実績		100枚	100枚	100枚	100枚		
餌用マウスの飼育(繁殖)管理	目標	(1200匹)	(1200匹)	(900匹)	(700匹)		
	実績	1200匹	1200匹	900匹	700匹		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年4月中旬に委託業務を発注し、ハブ捕獲器200器を設置した。 捕獲するためのエサとなるマウスを飼育し、設置期間における3週間を目的に巡回・捕獲器の管理を行った。 危険周知看板の維持管理を行い、観光客及び村民への啓発に繋げた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件	目標	(0件)	(0件)	(0件)	(0件)	()
		実績		0件	0件	4件	
	【参考指標】		目標	(-)	(100匹)	(100匹)	(100匹)
捕獲数:100匹/年		実績		399匹	138匹	138匹	
進捗状況説明	前年度と比較すると捕獲数は同数だったが、咬傷被害が4件発生した。捕獲数に関しては目標達成。 令和3年度:ハブ類77匹 その他へび類61匹 計138匹 令和2年度:ハブ類80匹 その他へび類58匹 計138匹						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・契約期間外(3月末～4月当初)における咬傷被害防止や個体数増加抑制のため、毎年度早期着手が必要と考える。 ・今年度の咬傷被害4件あった。今後咬傷被害を無くしていくためにも、引き続き、注意喚起看板の徹底管理を行い、歩行者等へ周知していくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初からの着手を目指し、早期の業者選定、入札執行を図る。 ・事業の概要や読谷村におけるハブ被害の現状について、村HPやFMラジオを通しての周知をさらに高める。 ・エリア毎の捕獲実績数を鑑み、設置箇所の再検討を行う。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に早期着手し、ハブ等の活動が活発になる前に捕獲器を設置し、危険性の除去向上に努める。 ・村のHPや広報誌、FMラジオを活用し、村民及び観光客に対し、危険生物であるハブへの注意喚起を行い、事業の理解と協力を得るために、更なる広報活動を行う。 ・捕獲器設置及び注意喚起看板の維持管理を行う。定期的な捕獲数の検証を行い、設置箇所の改善等の検討を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,925	1,925	1,540	385	



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札方式により決定した。県内実績を勘案し選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模として不用額は、全て入札残であり、適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	ヨミタンJOHO発信事業 (読谷観光情報番組等PRラジオ番組制作・放送事業)			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	ゆたさむら推進部 商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	市場特性に対応した誘客活動 の展開 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	本村の認知度向上を図るため、観光情報番組よみたんラジオを放送し、主にレンタカーを利用する観光客に番組を聴取してもらうことにより、本村のPR・誘客を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の 状況	(a) 当初予算額	7,218	7,218	7,256	5,531	3,942
		(b) 予算現額	7,218	7,218	7,256	5,297	3,465
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	▲ 234	▲ 477
		(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	7,218	7,218	7,256	5,297	3,465	
	B. 執行済額	7,218	7,218	7,256	5,297	3,465	
	うち交付金充当額	5,774	5,774	5,805	4,237	2,771	
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	概ね事業計画通りに執行したが、新型コロナウイルス感染症拡大により観光客数が減少したため、誘客効果検証費を減額した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	コミュニティFM放送を活用した観光情報の提供	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	レンタカードライブMAPへの記事掲載	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 主にレンタカーを使用する観光客を本村へ誘導するため、観光情報番組を制作し、放送を行った。 レンタカー利用者に配布されるドライブMAPに番組の情報を掲載し、聴取機会の向上を図った。 						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値 (年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 (年度)	
		メール受信件数: 726件	()	(1,281件)	(1,104件)	(726件)	()
	実績	/	894件	1,069件	410件	/	
	目標	()	()	()	()	()	
	実績	/				/	
	進捗状況説明	多くのレンタカー利用者へ読谷村の魅力や情報発信(242回放送)に努めたが、目標達成には至らなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>新型コロナウイルスによる緊急事態宣言長期化に伴い、沖縄県内の観光客の大幅な減少が見られ、現地(沖縄県)でのレンタカー利用者への十分なPRがなされなかったことが原因と考える。</p>	<p>Withコロナ・Afterコロナにおいて、現地(沖縄県)に来ることが出来ない場合があるため、県外で情報を取得できるような仕組みが必要と考える。</p> <p>これまでの事業実施期間で培ってきたラジオ番組による情報発信力を、さらに向上させ、効果的なものとするために、レンタカー利用者向けの発信であった「旅中」発信から、読谷村を観光の計画に入れてもらうための「旅前」発信を進めていく検討していきたい。</p>
今後の取り組み方針		
<p>ラジオ番組に特化した全国配信サービスを活用し、県外の観光客に対し「旅中」から「旅前」で情報発信する事業を行い、さらなる読谷村の認知度向上と入域観光客数拡大に取り組む。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,465</td> <td>3,465</td> <td>2,771</td> <td>694</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,465	3,465	2,771	694		<pre> graph LR A[読谷村 3,465千円] --> B[委託料 3,465千円] B --> C["(株)FMよみたん 3,465千円"] C --- D["(番組制作・放送及び広告掲載に)"] </pre>		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,465	3,465	2,771	694											

資金の流 れ、 点 検 評 価 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○県内コミュニティ放送局3社からの見積徴取により、読谷村でコミュニティFMを運営するFMよみたんを支出先に選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は見積及び前年度の実績等を考慮し設定しており、適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については事業目的に応じて、適正なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	ゆんたんざウトウイムチ推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
担当部署名	ゆたさむら推進部 商工観光課	事業実施(予定)年度	令和2~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	読谷村の新たな観光振興基本計画を策定するにあたり、これまで推進してきた第2次読谷村観光振興計画における施策の進捗、達成状況を評価検証する。また、本村の観光振興の現状や課題の分析を行い、今後の観光振興の方向性を示す読谷村観光振興計画を策定し、計画に基づく施策を推進する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度				
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,439	9,790			
		(b) 予算現額	10,252	9,790			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 187	0			
		(d) 繰越額	0	0			
	A. 計(b+d)		10,252	9,790			
	B. 執行済額		10,252	9,790			
	うち交付金充当額		8,201	7,832			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		事業計画通りに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度				
	第3次読谷村観光振興基本計画の策定	目標	(策定)	()	()	()	
		実績	策定				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・村内の観光関連事業者を中心とした「読谷村観光振興計画策定検討ワーキング」を組織し、課題や地域資源等の抽出、意見出しを実施した。 ・有識者や読谷村観光協会、商工会、関係団体で構成された「読谷村観光振興計画策定委員会」を組織し、第2次計画の評価・検証の分析を図り、令和2年度に行った観光動向調査を踏まえ、検討ワーキングでの様々な意見を基に、基本理念、基本方針、具体的な施策等について議論し、計画を策定した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度		目標値(年度)	
	第3次読谷村観光振興基本計画の策定完了	目標	()	(策定)	()	()	()
		実績		策定			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・「読谷村観光振興計画検討ワーキング」、「読谷村観光振興計画策定委員会」での議論や検討をもとに第3次読谷村観光振興計画を策定することができた。 					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定にあたりウイズコロナとアフターコロナを見据えた2つのフェーズで観光施策を考える必要があると考える。 ・観光需要の回復に取り組む一方、事業者及び観光客への感染症拡大防止の両立を図る必要がある。 ・感染症拡大の影響により検討ワーキング及び策定委員会の開催がオンライン形式やハイブリット方式での会議へと変更した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次読谷村観光振興計画は施策の実施を前期・後期に分け、計画実施の5年目に見直しの時期を設けるとともに、計画の進捗に応じて随時見直しをしていく。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・本計画で設定した「10年間の成長目標」について、中間年度(2026年度)に目標値の点検・見直しを行い、成長目標の達成を図る。 ・「仮称:読谷村観光推進戦略会議」や「仮称:読谷村観光推進ワーキング」を中心にPDCAマネジメントサイクルを用いて、本計画の管理や取り組みの推進を図る。 		

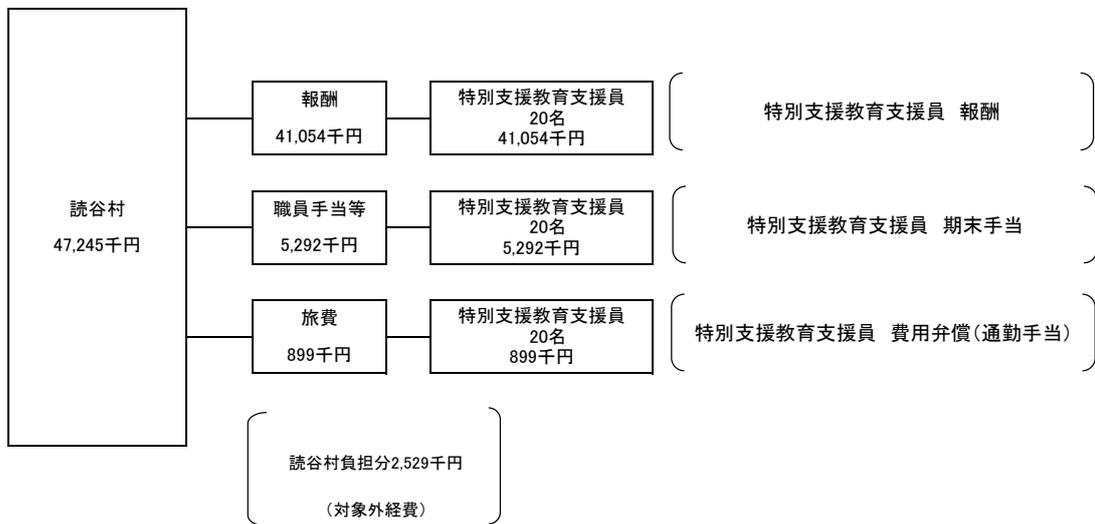
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,790</td> <td>9,790</td> <td>7,832</td> <td>1,958</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,790	9,790	7,832	1,958	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費								
9,790	9,790	7,832	1,958	0								
<pre> graph LR A[読谷村 9,790千円] --> B[委託料 9,790千円] B --> C[株式会社 オリエンタルコンサルタンツ 9,790千円] </pre>												
〔令和3年度読谷村観光振興計画策定業務委託〕												
評価	点検項目	評価に関する説明										
資金の流 れ、費 用 点 検 評 価	○ 支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託事業所は令和2年度から読谷村の観光振興に係る基礎調査・分析から観光客の行動実態、満足度、地域住民(受入側)の意識調査等を行っており、これを基に第3次読谷村観光振興計画を策定する必要があったため随意契約を行った。										
	○ 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 予算規模については事業内容を概ね達成しており適正だと考える。										
	- 受益者との負担関係は妥当であるか。	○ 費用・使途については事業目的に応じて適正だったと考える。										
	○ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○ 費用・使途については事業目的に応じて適正だったと考える。										

市町村名	読谷村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	特別支援教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ	
担当部署名	教育委員会 学校指導課	事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進		
事業内容	特別な支援を要する幼児、児童生徒に対応した支援を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	46,825	41,161	44,426	49,374	50,467
		(b) 予算現額	46,825	39,864	43,313	49,283	47,914
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 1,297	▲ 1,113	▲ 91	▲ 2,553
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	45,225	39,864	43,313	49,283	47,914
		B. 執行済額	44,475	39,360	43,313	47,153	47,245
		うち交付金充当額	33,003	31,487	34,650	37,721	37,796
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	98.3%	98.7%	100.0%	95.7%	98.6%
予算の状況の説明	当初の計画通りに実施できた。2,553千円の減額は、報酬等の執行残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	特別教育支援員配置 幼稚園【5園】:5名	目標	(5名)	(5名)	(5名)	(5名)	
		実績	5名	5名	5名	5名	
	特別教育支援員配置 小学校【5校】:10名	目標	(10名)	(11名)	(10名)	(10名)	
		実績	10名	11名	10名	10名	
	特別教育支援員配置 中学校【2校】:4名	目標	(4名)	(3名)	(4名)	(4名)	
実績		4名	3名	4名	4名		
特別支援教育専門指導員 教育委員会:1名	目標	(2名)	(1名)	(1名)	(1名)		
	実績	2名	1名	1名	1名		
達成状況説明	活動目標である特別支援教育支援員の配置について、計画通り達成できたことで、要支援幼児・児童生徒への支援体制が構築でき、個々に応じたきめ細やかな支援を行うことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合(80%以上)	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		82%	95%	91%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	対象となる幼児・児童生徒の保護者に対し、アンケートを実施した結果、学校生活や学習上の困難が改善されたと回答した割合は91%となった。年間を通した支援員の配置により、個々の支援ニーズに応じた支援内容と支援体制を構築し、継続した支援を行うことで目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>支援員を配置することで、対象幼児・児童生徒の個々に応じた支援をすることができた。さらに令和3年度は、特に介助が必要な児童への特別支援ヘルパーを配置し、対象児童の支援体制の確立することができた。</p>	<p>障害をもつ幼児・児童生徒が増加していることから現在の支援体制に限界があり、支援員の体制やあり方について検討する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>今後も継続的に特別支援教育支援員を配置し、対象幼児・児童生徒への支援を行うとともに、障害のニーズに応じた支援員(特別支援教育支援員、特別支援ヘルパー、特別支援看護師ヘルパー)の配置を検討する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	市町村負担金	
49,775	47,245	37,796	9,449	2,529

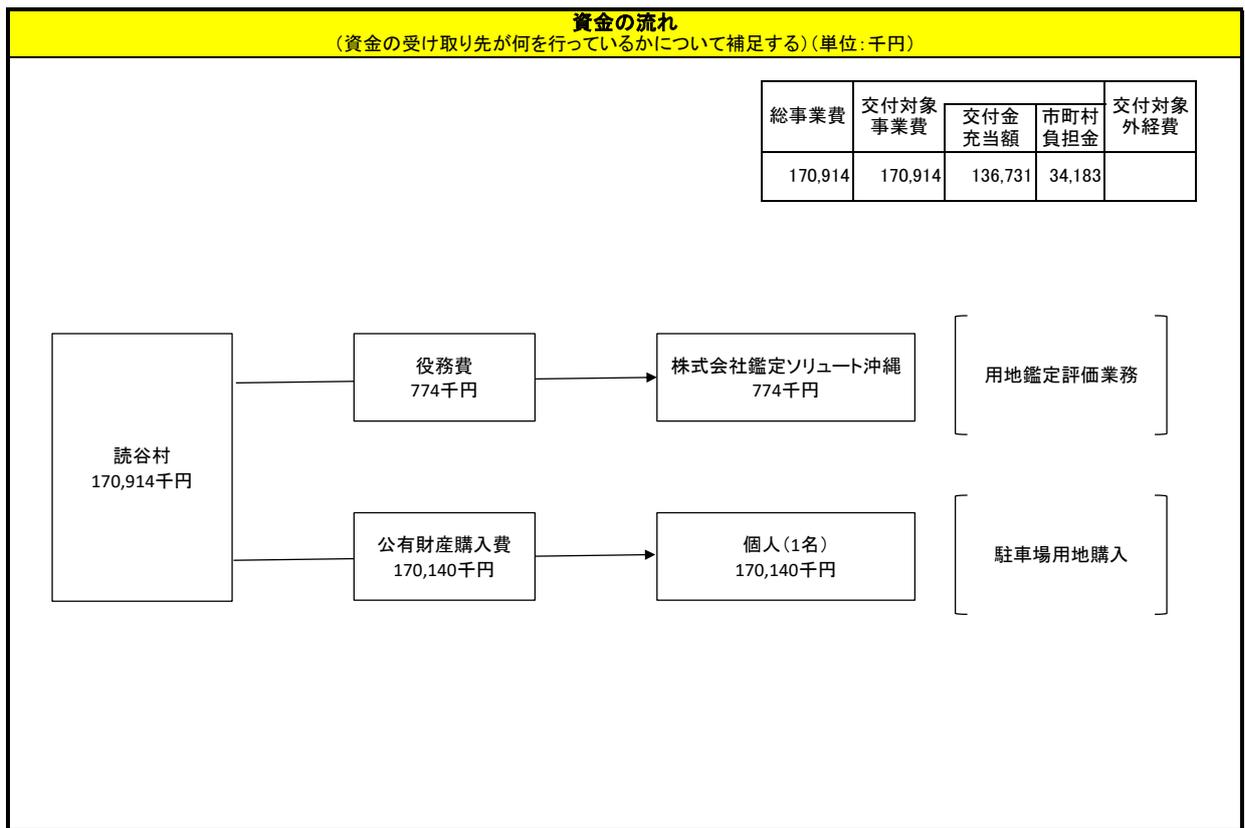


資金の流 れ、 点 検 評 価 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○読谷村会計年度任用職員の任用に関する規則により採用しており、支出先の選定については妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○読谷村会計年度任用職員の任用に関する規則及び要綱により予算規模を決定しており、適切な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途は、支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 文化振興課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)		
事業内容	現在では、日常生活で会話することも少なくなった沖縄語(しまくとぅば)の保存継承に寄与するため、身近な生活の中で語られてきた沖縄語をわかりやすく学び、親しむための「単語・音声データベース」を作成・公開する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,075	6,260	10,000	7,000	7,000
		(b) 予算現額	6,130	7,436	10,350	7,170	7,000
		(c) 増減額(b-a)	▲ 945	1,176	350	170	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	6,130	7,436	10,350	7,170	7,000
		B. 執行済額	6,097	7,436	9,518	6,892	6,998
		うち交付金充当額	4,877	5,948	7,614	5,512	5,598
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	99.5%	100.0%	92.0%	96.1%	100.0%
予算の状況の説明	事業計画どおりに執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	沖縄語データベース(単語・民話・音声)の追記	目標	()	()	(実施)	(実施)	
		実績			実施	実施	
	沖縄語データベース(単語・民話・音声)の公開	目標	()	(実施)	(実施)	(実施)	
実績			実施	実施	実施		
達成状況説明	過去数十年に及ぶ民話や民俗に関する聞き取り調査のデータ整理とともに新たな聞き取り調査も実施し、村内しまくとぅばの多様性を示す「しまくとぅばマップ」、民話や童謡、しまくとぅば単語やその用例、音声インターネットで公開した。						
成果目標(指標)及び進捗状況		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	HP(データベース)アクセス数:800件	目標	()	(完了)	(800件)	(800件)	()
		実績		完了	1,113件	5,646件	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・「読谷村しまくとぅば単語帳」としてHP上で容易に閲覧できるデータベースを作成し、約14,000語の単語と3,000件の音声データを公開した。また公開前段階に収集、構築したデータベース上では(重複や公開に検討を要するもの含む)約28,000語となる。 ・村広報誌で本事業の成果を報告するとともに、読谷村内しまくとぅばの多様性などを周知しその普及に取り組んでいる。また県内各メディア(ラジオ、テレビなど)にて本事業に関する取り組みを紹介いただいた。 ・HP(しまくとぅば関連データベース)アクセス数(令和3年4月~令和4年3月):総アクセス数5,646件、総利用者数1,378人 ・HPには民話や童謡のテキスト及び音声データを追加。「しまくとぅばマップ」に音声データ追加。 						

市町村名		読谷村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部署名	教育委員会 文化振興課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-2		
事業内容	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者の利便性の確保を図るため、駐車場整備に向けた用地購入を行う。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和5年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,172	16,504		244,696	
		(b) 予算現額	12,484	15,070		170,914	
		(c) 増減額(b-a)	312	▲1,434		▲73,782	
		(d) 繰越額	—	—			
	A. 計(b+d)	12,484	15,070		170,914		
	B. 執行済額	12,484	15,070		170,914		
	うち交付金充当額	9,986	12,056		136,731		
	次年度繰越額	0	0		0		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%		100.0%		
予算の状況の説明	当初、用地費を不動産鑑定委託における参考価格で見込んだが、不動産鑑定の実施により算定した額との差額73,638千円等、執行残を計画変更で予算73,782千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	用地購入	目標	(基礎調査の実施)	(実施設計の作成)	()	(用地購入)	
		実績	基礎調査の実施	実施設計の作成		用地購入	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	事業計画どおりに執行し、執行残を補正減した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R5年度)	
		目標	()	(実施設計の完了)	()	(用地購入の完了)	()
	用地購入の完了	実績		実施設計の完了		用地購入の完了	
		目標	()	()	()	()	(80%)
	【R5成果目標】 ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該駐車場のあり方をアンケート調査により検証する。	目標	()	()	()	()	(80%)
		実績					
進捗状況説明	用地購入を完了したことで目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	計画どおりユンタンザミュージアム南側駐車場の用地購入を完了した。	<p>今後は、駐車場整備を進めていく。併せて、修学旅行や民泊等によるユンタンザミュージアム及び座喜味城跡の更なる活用のための周知方法についても検討を行う。</p>
今後の取り組み方針		
<p>今後も整備を進めていく。また、修学旅行フェアへの参加や、旅行社へユンタンザミュージアム及び座喜味城跡について効果的に周知するための手段などの検討を行う。</p>		



資金の流 点検・ 評価目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○役務費については、報酬額が定められていることから随意契約を行っており、支出先の選定方法は妥当であったと考える。</p> <p>○用地取得については、不動産鑑定価格を基に購入したため、予算規模は妥当であったと考える。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-イ		
担当部課名	ゆたさむら推進部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統工芸品等を活用した感性型ものづくり産業の振興 Ⅲ-1-(7)		
事業内容	1978年に策定した「ヤチムンの邑(むら)」基本構想により、村づくりにおいてヤチムン(琉球陶器)の振興を推進してきた。今後のヤチムンの持続的発展を目指し、県外マーケットにおいてマーケティングやプロモーションを行うとともに、販路拡大や人材育成に取り組んでいく。また、併せて村内工芸品である読谷山花織・琉球ガラスの販路拡大を図っていく。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,352	9,992	8,434	4,989	4,733
		(b) 予算現額	8,800	6,610	4,894	2,949	2,772
		(c) 増減額(D-a)	▲ 3,552	▲ 3,382	▲ 3,540	▲ 2,040	▲ 1,961
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	8,800	6,610	4,894	2,949	2,772
	執行率(%) (B/A)	B. 執行済額	8,279	6,214	4,681	2,131	2,772
		うち交付金充当額	6,623	4,931	3,744	1,682	2,218
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		94.1%	94.0%	95.6%	72.3%	100.0%
予算の状況の説明	・事業の効率化に努め、適正な予算執行だと考えられる。 ・予算減額の1,961千円は、旅費に工芸従事者分を計上していたが、新型コロナウイルスの蔓延により参加を見合わせたこと及び出展した催し物の物品借料と施設借料の不用額によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	県外プロモーション出典・調整及びテストマーケティング(3回)	目標	(3回)	(2回)	(1回)	(3回)	
		実績	3回	2回	0回	3回	
	観光客向け県内プロモーション(3回)	目標	(3回)	(3回)	(3回)	(3回)	
		実績	3回	3回	1回	1回	
	周知用媒体ツールの作成	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	達成状況説明	・テストマーケティングは、直接現地には行けなかったが、展示会に商品の出品を行った。 ・展示会商談には職員を1人派遣し、多くの企業に伝統工芸品と読谷村の観光PRを実施した。 ・物産展へは職員1人を派遣し、売上70,800円の結果となったが、ヤチムン、読谷山花織、読谷村のPRグッズ、出品工房の名刺の配布などを実施した。					

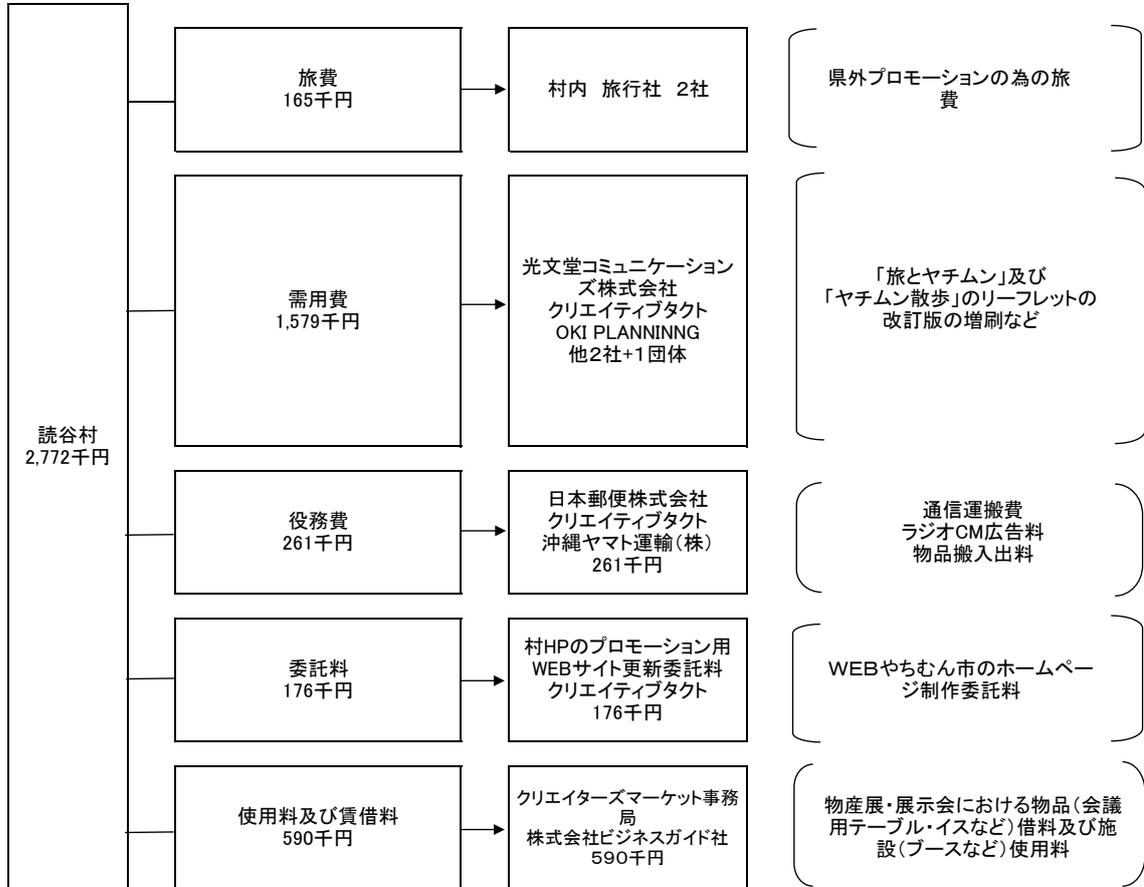
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値 (年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 (年度)
	陶器市の来場者数 14,776人	目標	()	(14,338人)	(14,589人)	(14,776人)
実績			14,486人	-	-	
物産展売上金額 73,400円	目標	()	()	()	(73,400円)	()
	実績				70,800円	
展示会商談数 17件	目標	()	()	()	(17件)	()
	実績				47件	
【参考指標】 WEBヤチムン市アクセス数	目標	()	()	()	()	()
	実績			5,535件	13,598件	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・12月開催予定であった陶器市は、開催中止となったため、来場者数の目標は、計測不能となった。 ・商談件数は、47社と行えることができた。 ・物産展(クリエイターズマーケット【名古屋】)は初めての出展で、コロナの影響も考慮し職員1人での体制であったため、目標値には及ばなかった。 ・WEBヤチムン市(1/15~1/30)へのアクセス数は、13,598件で、昨年度の2.45倍となった。内訳は約80%が県外在住の方で、約20%が県内在住の方となった。 					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・県外プロモーションは実施できたが、新型コロナウイルスの影響により、職員1人だけの派遣であったため、マンパワー及び工芸関係者のPR不足はあったと思われる。 ・物品を取り扱うバイヤーや卸売り業者などが、コロナ禍で沖縄県への買い付けなどが減っており、別の方法での販路開拓が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ECサイトの活用について、昨年と今年度2度目となるイベントを開催し、参加事業所及び購入者からの評価が良く、内容の充実を図り継続に努めていく。 ・アフターコロナを見据えつつ、催事への参加だけでなく、県外のデパートなどとイベント開催に向けて取り組みを行う。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・笠間焼で有名な茨城県笠間市工芸の丘での「シーサーと鬼瓦展」にイベントへの声掛けがあり、そこでのテストマーケティングを続けて、有名産地でのイベント(販売及びデモンストレーション、陶工同士の交流など)を活用しやちむんの認知度を上げていく。 ・ECサイトを活用したイベントの拡充を図る。 ・ECサイトを活用したイベントを通じ、工芸者の育成を図りながら、工芸者独自でサイト運営が可能になるように努める。 		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

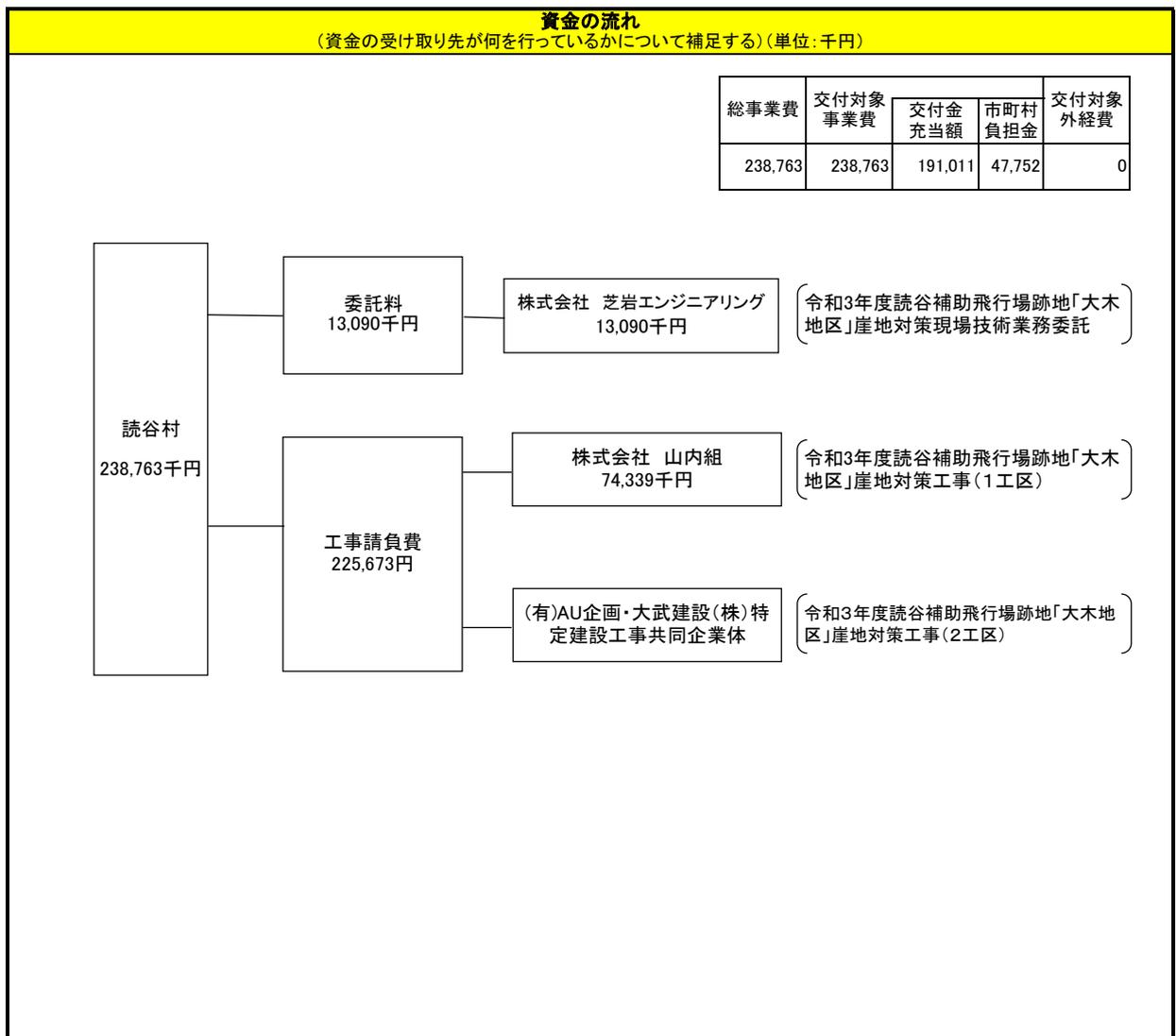
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,772	2,772	2,218	554	0



評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○印刷製本費については、パンフレット制作時に携わった組版、写真権を持っている業者に依頼しているため、支出先の選定は妥当であると考えている。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○県外プロモーションを実施したが、コロナ前に比べ新型コロナウイルスの影響により十分ではなかったと考えている。しかし、コロナ禍での実施状況として予算規模は、適正であると考えます。
—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものであるかについて、支出先に関する書類により確認しているため適正であると考えている。
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	6-①	読谷補助飛行場跡地「大木地区」崖地対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ	
担当部署名	建設整備部 都市計画課	事業実施(予定)年度	令和元～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の計画的な整備 Ⅲ-8	
事業内容	読谷補助飛行場跡地(大木地区)の土地利用を促進するため、区画整理地と境界が隣接する崖地法面の整備を行う。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度
		(a) 当初予算額	13,000	145,000		200,000
		(b) 予算現額	12,924	163,000		240,889
		(c) 増減額(b-a)	▲ 76	18,000		40,889
		(d) 繰越額			88,230	
		A. 計(b+d)	12,924	163,000	88,230	240,889
		B. 執行済額	12,924	74,770	86,437	238,763
		うち交付金充当額	10,339	59,816	69,149	191,011
		次年度繰越額	0	88,230	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	45.9%	98.0%	99.1%
予算の状況の説明	事業計画どおりに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況				
			R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度
	崖地対策工事の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)
		実績	実施	実施	実施	実施
		目標	()	()	()	()
		実績				
達成状況説明	崖地対策工事を実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
		区画整理地の開発可能区域増約16,792㎡	()	()	()	(約16,792㎡)
	実績				約16,792㎡	
	目標	()	()	()	()	()
	実績					
	進捗状況説明	予定していた工事を完了し、目標を達成した。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	読谷補助飛行場跡地(大木地区)は、崖地と区画整理地の境界が隣接しており、住宅予定地が危険な状況にあったため、崖地対策工事が完了したことで安全を確保することが出来た。	大木土地区画整理組合の事業進捗状況にあわせ適切に維持管理を行う。
今後の取り組み方針		
工事完了後は、大木土地区画整理組合と調整を行いながら、当該地区の区画整理事業(地区整備)を進め、跡地利用を推進していく。		



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は、指名競争入札しており妥当であったと考える ○予算規模は適正な規模であるとする ○費用・使途については事業目的の観点から必要なものなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-②	瀬名波通信施設跡地(非農用地部分)基本設計策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ	
担当部署名	ゆたさむら推進部 農地活用推進課	事業実施(予定)年度	令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の計画的な整備 Ⅲ-8	
事業内容	瀬名波通信施設跡地は、農用地と非農用地にわけて土地利用計画を設定しているが、農用地部分の整備は県営土地改良事業で実施されるものの、非農用地部分の道路等インフラ整備は対象外となっている。農用地と非農用地部分とは用途は異なるものの一体的な地区形成となることから、土地利用を促進するため、非農用地部分の基本設計を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R3年度				
	予算の状況	(a) 当初予算額	29,414				
		(b) 予算現額	28,050				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,364				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	28,050				
	B. 執行済額		28,050				
	うち交付金充当額		22,440				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通り執行できた。1,364千円の減額は委託の入札残の減などによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
	非農用地部分の基本設計委託業務の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	基本設計委託業務を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度			目標値(年度)
	基本設計の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	予定していた基本設計委託業務を完了し、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	R3年度に予定していた基本設計を完了することができた。 基本設計を踏まえ農用地(土地改良事業)と非農用地の一体的整備促進に向けて、関係機関との調整及び実施設計を行う必要がある。	非農用地整備実現に向けてR4年度より実施設計を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
・実施設計はR4～5で行う予定である。農用地と非農用地の一体的整備については、土地改良事業の事業主体である沖縄県と調整を常に行う。非農用地の整備については、引き続き整備実現に向け、工事施工できる手法について模索を続ける。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
28,050	28,050	22,440	5,610	0

```

graph LR
    A[読谷村  
28,050千円] --> B[委託料  
28,050千円]
    B --> C[株式会社ベストコンサルタント  
28,050千円]
  
```

資金の流点、検証、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものであるか、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	6-③	読谷補助飛行場跡地「先進農業支援センター」利活用促進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-(イ)		
担当部署名	ゆたさむら推進部 農地活用推進課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の計画的な整備 Ⅲ-8	
事業内容	読谷補助飛行場跡地「先進農業支援センター」の今後の土地利用の安定化を図るため、当該地区の分筆に伴う地籍測量を行う。					
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和4年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R3年度			
	予算の状況	(a)当初予算額	17,564			
		(b)予算現額	17,564			
		(c)増減額(b-a)	0			
		(d)繰越額				
	A. 計(b+d)		17,564			
	B. 執行済額		17,563			
	うち交付金充当額		14,050			
	次年度繰越額		0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%			
予算の状況の説明		事業計画通りに執行した。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況			
			R3年度			
	読谷村補助飛行場跡地(先進農業支援センター)の分筆・合筆登記申請資料作成	目標	(実施)	()	()	()
		実績	実施			
		目標	()	()	()	()
		実績				
達成状況説明	読谷村補助飛行場跡地(先進農業支援センター)の分筆の登記申請資料作成を実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度		目標値(R4年度)
	分筆・合筆等の登記申請資料の完了 約20.3haの分筆	目標	()	(完了)	()	()
		実績		完了		
	【R4成果目標】 貸付筆数:24筆	目標	()	()	()	(24筆)
		実績				
	進捗状況説明	予定していた業務を完了し、目標を達成した。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和3年度に予定していた地籍測量図等作成委託業務を完了することができた。 地籍測量図等を踏まえ、登記を行う。	令和4年度において、登記申請を行う。
今後の取り組み方針		
当該地区の登記を行うことで、明確な地籍で土地を貸し付けることができ、読谷補助飛行場跡地「先進農業支援センター」の今後の土地利用の安定化を図る。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
17,563	17,563	14,050	3,513	

```

graph LR
    A[読谷村  
(17,563千円)] --> B[委託料  
(17,563千円)]
    B --> C[公益社団法人沖縄県公共嘱託登記土地家屋調査士協会  
(17,563千円)]
    subgraph D [ ]
    C --- E[先進農業支援センター地籍測量図等作成委託業務]
    end
  
```

資金の流 れ、費目 の点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○当事業は、迅速確実に事業を遂行する必要のあること、また受注者は土地家屋調査士法第63条で定める公共の利益となる法人であることも踏まえ随意契約は妥当である。 ○予算規模は、適正であると考え。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について、額の確定時において関係する書類により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	